

# 《日商簿記2級》 —工業簿記—

## 12. 部門別原価計算

～製造間接費をより正確に配賦計算する方法について～



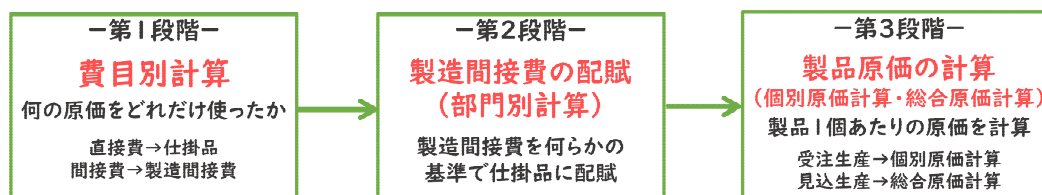
ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



# 部門別原価計算

## ～部門別原価計算とは？～

<部門別計算を行う目的と勘定連絡図について>



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>

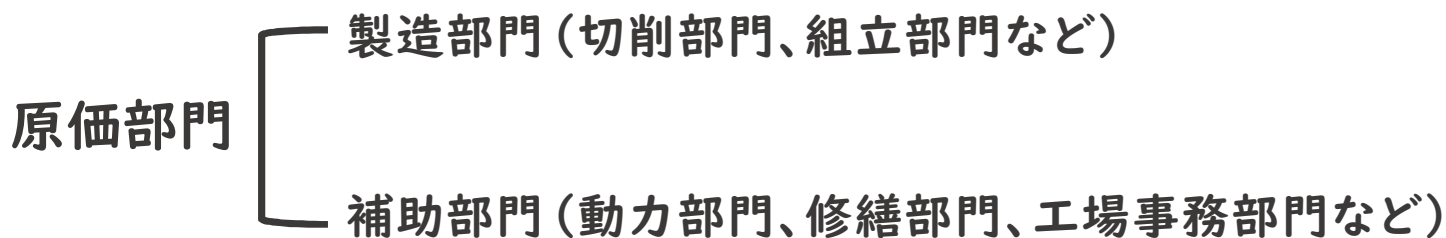


## 部門別原価計算

- ・部門別原価計算は、間接費として集計された（ ）を部門ごとに集計する手続きをいう。
- ・部門ごとに集計することで、「どの部門でどれくらい発生したもの」という責任が明確になるため、部門ごとに原価管理を行うことができる。
- ・また、部門別原価計算は、各部門に適した配賦基準を用いて配賦計算を行うため、製品原価の計算を正確に行うことができる。

### <原価部門について>

- ・原価部門は、製品の製造に直接携わる（ ）と補助的な役割を担う（ ）に分類される。

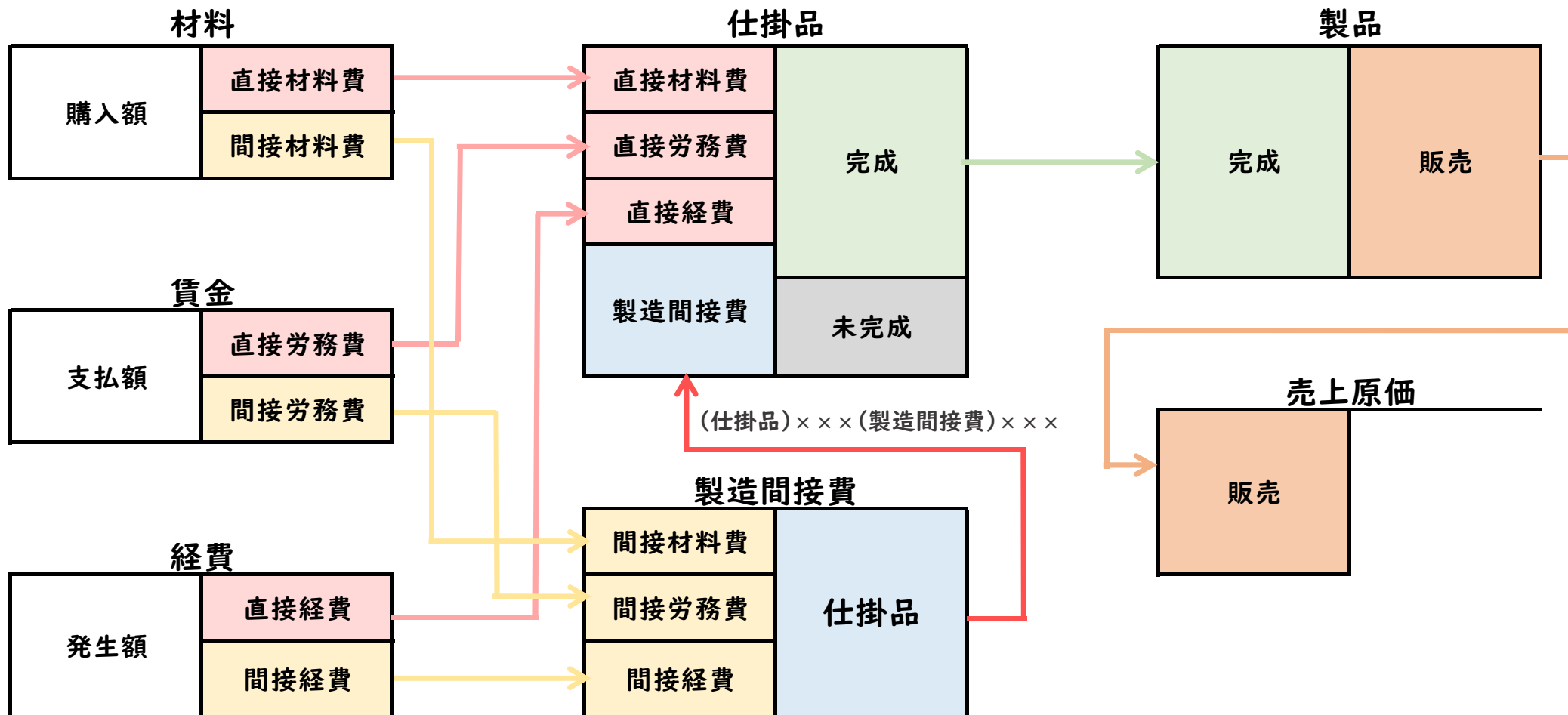
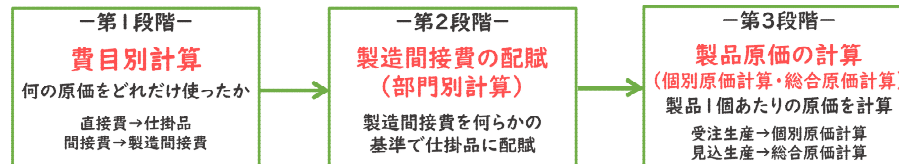


○用語○

部門…（工場の）組織における部署のこと（切削部門、組立部門など）

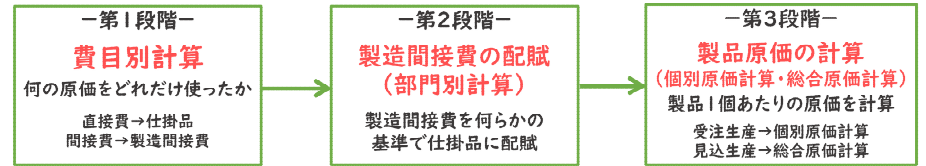
# 部門別原価計算

## <勘定連絡図(単純個別原価計算の場合)>

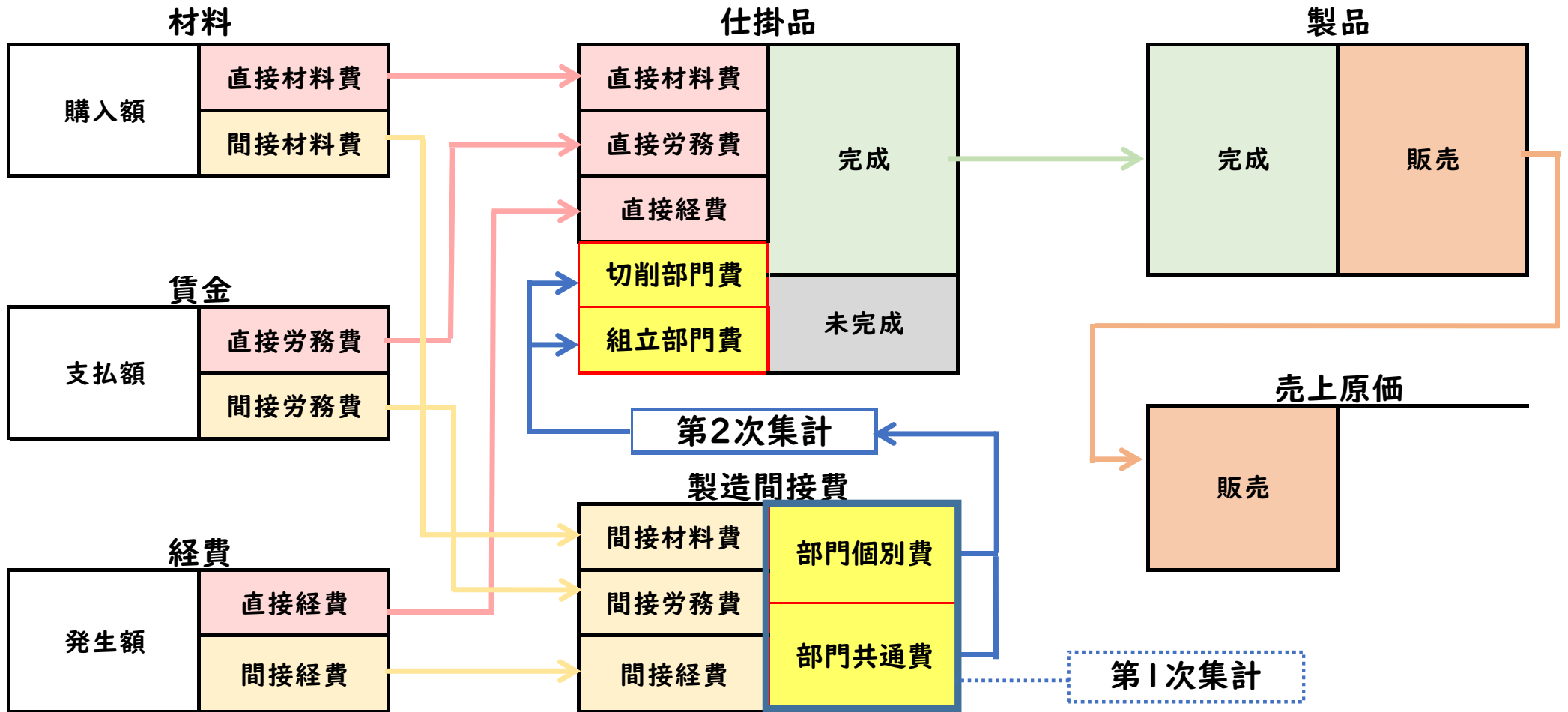


# 部門別原価計算

原価部門  
 製造部門（切削部門、組立部門など）  
 補助部門（動力部門、修繕部門、工場事務部門など）



## <勘定連絡図（部門別個別原価計算の場合）>



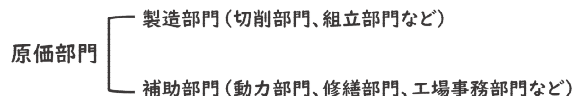
## 部門別原価計算

～部門別原価計算の計算手順～  
<部門別計算の手順を問題とともに把握しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>

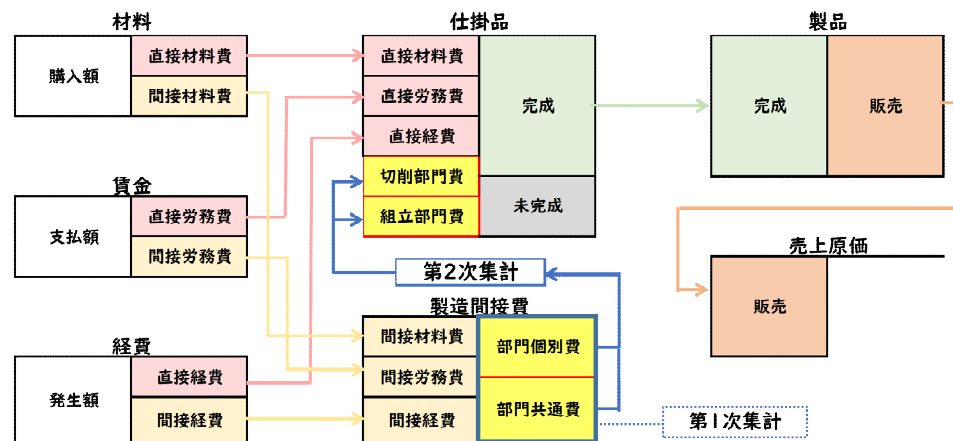


# 部門別原価計算



## <部門別計算の流れ>

- ①. 製造間接費を部門ごとに集計する (第1次集計)
- ②. 補助部門費を製造部門に配賦する (第2次集計)
- ③. 製造部門費を各製造指図書へ配賦する (第3次集計)



## 《①. 製造間接費を部門ごとに集計する (第1次集計)》

・部門別計算の第1段階は、製造間接費を部門個別費と部門共通費に区分していく。

- ( ) … どの部門で発生した原価 (製造間接費) なのかが明確に分かる原価であるため、各部門ごとにその発生額を ( ) する。
- ( ) … 複数の部門で共通的に発生する原価であり、どの部門で発生した原価なのかを特定できないものである。この原価は、各部門に適切な配賦基準を用いて配賦を行う。

### 仕訳例

(切削部門費) 600 (製造間接費) 1,500  
 (組立部門費) 500  
 (動力部門費) 300  
 (修繕部門費) 100

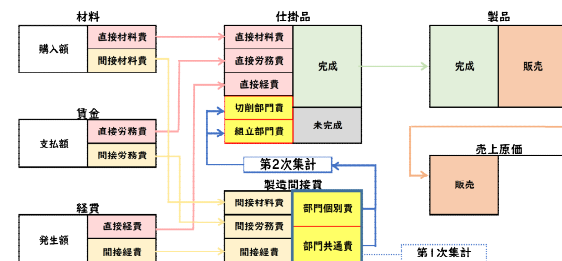
○用語○  
 部門費…部門ごとに集計した原価のこと  
 賦課(直課)…直接、原価を割り当てること

# 部門別原価計算

- ①.製造間接費を部門ごとに集計する(第1次集計)
- ②.補助部門費を製造部門に配賦する(第2次集計)
- ③.製造部門費を各製造指図書へ配賦する(第3次集計)

## 《問題1》

次の資料に基づいて、実際部門費集計表を完成させ、第1次集計の仕訳を行いなさい。  
 なお、製造間接費の当月実際発生額は150,000円であった。



## 1. 部門個別費

(単位:円)

切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門	合計
24,000	12,500	11,000	9,500	57,000

## 2. 部門共通費

建物減価償却費 50,000 電力料 15,000  
 福利厚生費 28,000

## 3. 部門共通費の配賦基準

配賦基準	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門	合計
従業員数(人)	10	8	6	4	28
占有面積(m <sup>2</sup> )	400	300	200	100	1,000
電力供給量(kwh)	240	180	120	60	600

## 部門費集計表

(単位:円)

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門個別費					
部門共通費					
建物減価償却費					
電力料					
福利厚生費					
部門費合計					

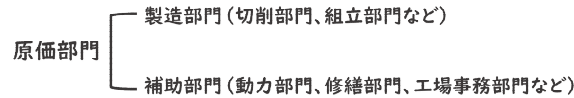
## 【第1次集計の仕訳】



《重要》  
 定数計算機能「K」を使って計算すること!

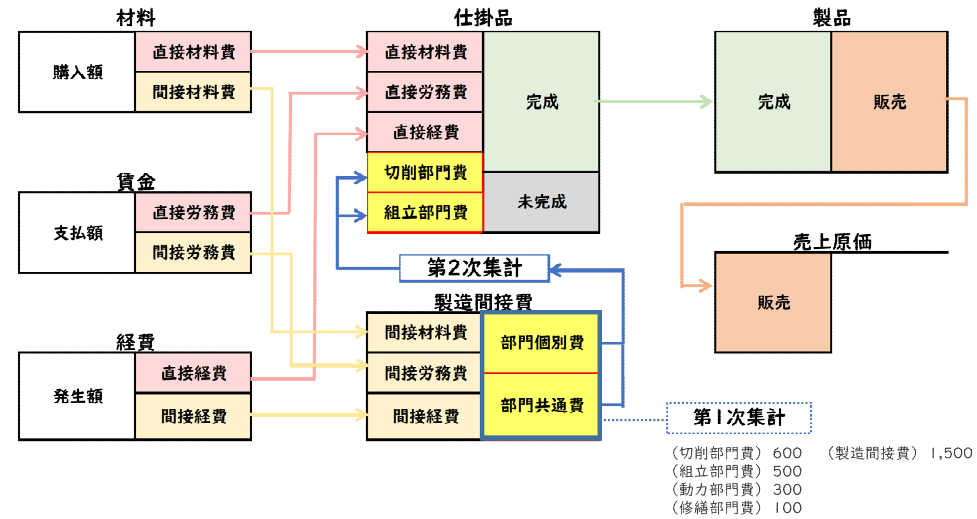


# 部門別原価計算



## <部門別計算の流れ>

- ①. 製造間接費を部門ごとに集計する (第1次集計)
- ②. 補助部門費を製造部門に配賦する (第2次集計)
- ③. 製造部門費を各製造指図書へ配賦する (第3次集計)



## 《②. 補助部門費を製造部門に配賦する (第2次集計)》

- ・部門別計算の第2段階では、第1次集計で集計した補助部門費 (補助部門に集計された製造間接費) を各製造部門に配賦していく。なお、配賦方法には2つの方法がある。
- また、この補助部門費の配賦には、実際配賦する場合と予定配賦する場合がある。
- 予定配賦する場合は、実際発生額と予定配賦額との差額で ( ) を把握する。

- ( ) … 補助部門間における用役のやりとりを計算上は一切無視して、製造部門にのみ配賦する方法。
- ( ) … 補助部門間における用役のやりとりを計算上考慮して、製造部門と補助部門に配賦する方法。なお、配賦手続きは2段階 (第1次配賦・第2次配賦) に分けて行っていく。

- ( ) … 用役を提供した自部門以外の関係部門すべてに補助部門費を配賦する。
- ( ) … 第1次配賦で配賦を受けた補助部門費を製造部門にのみ配賦する。

○用語○  
用役 (ようえき) … サービスのこと

### 仕訳例

(切削部門費) 250      (動力部門費) 300  
(組立部門費) 150      (修繕部門費) 100

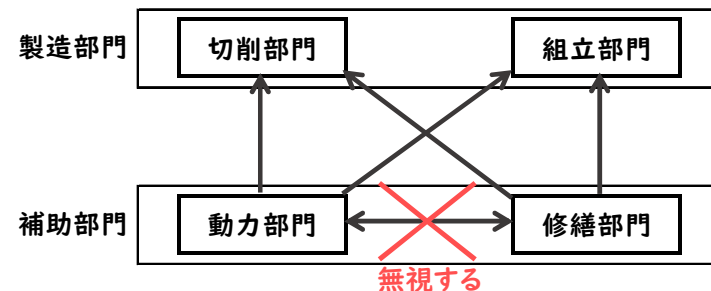
# 部門別原価計算

《問題2》

次の資料に基づいて、実際部門別配賦表を完成させ、第2次集計の仕訳を行いなさい。  
 なお、補助部門費の配賦方法は直接配賦法によること。

## 1. 補助部門の当月実際用役提供量

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	3,000kwh	2,000kwh	—	1,000kwh
修繕時間	50h	30h	20h	—



<実際配賦率>

## 実際部門別配賦表

(単位:円)

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	150,000	60,000	40,000	30,000	20,000
動力部門					
修繕部門					
配賦額合計					
製造部門費					

【第2次集計の仕訳】

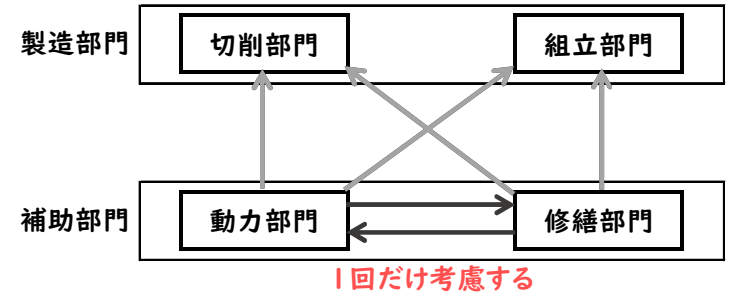
# 部門別原価計算

第1次配賦…用役を提供した自部門以外の関係部門すべてに補助部門費を配賦する。  
 第2次配賦…第1次配賦で配賦を受けた補助部門費を製造部門にのみ配賦する。

## 《問題3》

次の資料に基づいて、実際部門別配賦表を完成させ、第2次集計の仕訳を行いなさい。  
 なお、補助部門費の配賦方法は相互配賦法によること。

※製造部門と補助部門に配賦する(2段階の配賦を行う)



## 1. 補助部門の当月実際用役提供量

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	3,000kwh	2,000kwh	—	1,000kwh
修繕時間	50h	30h	20h	—

<第1次配賦の配賦率>

<第2次配賦の配賦率>

## 実際部門別配賦表

(単位:円)

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	150,000	60,000	40,000	30,000	20,000
第1次配賦					
動力部門					
修繕部門					
第1次配賦額合計					
第2次配賦					
動力部門					
修繕部門					
第2次配賦額合計					
製造部門費					

## 【第2次集計の仕訳】

<第1次配賦>

<第2次配賦>

# 部門別原価計算

●ポイント●  
製造部門に補助部門費を予定配賦する場合、配賦される予定配賦額は「製造部門では実際発生額」として扱っていく。

●補助部門費を予定配賦するメリット●  
実際配賦の場合、補助部門の責任で原価が多かかってしまっても、その原価の増加分は製造部門の責任になってしまう。  
予定配賦の場合は、各補助部門で配賦差異が把握できるので、補助部門の責任も明確になる。  
また、製品原価の計算も迅速にできる。

## 《問題4》

次の資料に基づいて、実際部門別配賦表を完成させ、第2次集計と差異に関する仕訳を行いなさい。  
なお、補助部門費の配賦方法は直接配賦法による予定配賦を行うこと。

### 1. 補助部門の当月実際用役提供量

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	3,000kwh	2,000kwh	—	1,000kwh
修繕時間	50h	30h	20h	—

### 2. 補助部門の予定用役提供量(年間)

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
動力供給量	38,400kwh	21,600kwh	—	9,600kwh
修繕時間	720h	480h	120h	—

### 3. 補助部門費の年間予算額

動力部門費:384,000円 修繕部門費:216,000円

<予定配賦率> 動力部門:  
修繕部門:

### 実際部門別配賦表

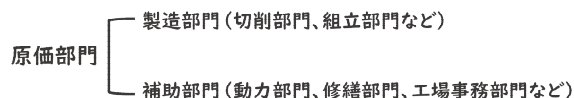
(単位:円)

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	150,000	60,000	40,000	30,000	20,000
動力部門					
修繕部門					
配賦額合計					
製造部門費					

【第2次集計の仕訳(予定配賦)】

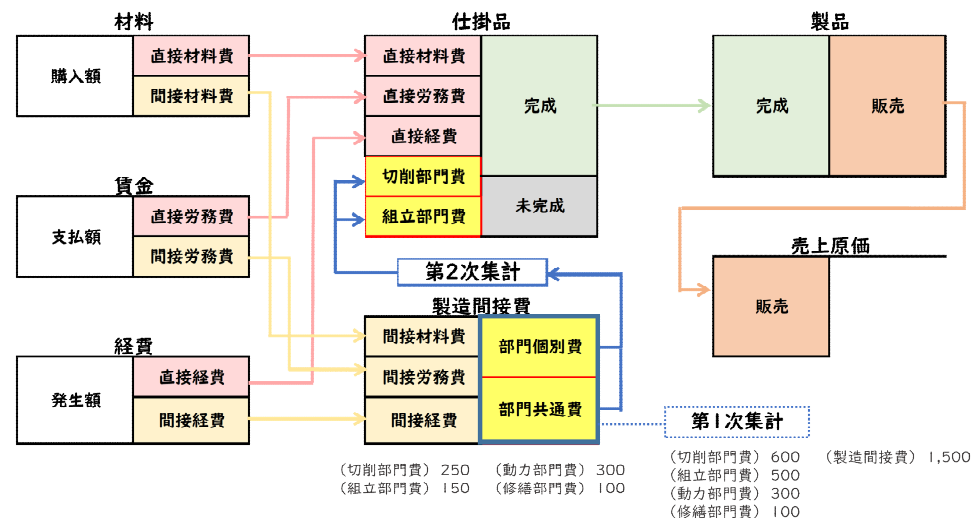
【補助部門費配賦差異の仕訳】

# 部門別原価計算



## <部門別計算の流れ>

- ①. 製造間接費を部門ごとに集計する (第1次集計)
- ②. 補助部門費を製造部門に配賦する (第2次集計)
- ③. 製造部門費を各製造指図書へ配賦する (第3次集計)



## 《③. 製造部門費を各製造指図書へ配賦する》

・部門別計算の第3段階では、第2次集計で各製造部門に集計された製造部門費を各製造指図書へ配賦していくが、これには、実際配賦と予定配賦がある。

**実際配賦**…各製造部門ごとの当月実際発生額を各製造部門ごとの実際配賦基準に基づいて、各製造指図書へ配賦していく。

**予定配賦**…計算を迅速に行うため、年初に各製造部門ごとの予定配賦率を設定する。そして、予定配賦率を用いた当月予定配賦額で各製造指図書へ配賦していく。

なお、予定配賦をする場合は、実際発生額との差額で( )を求める必要がある。

### 仕訳例

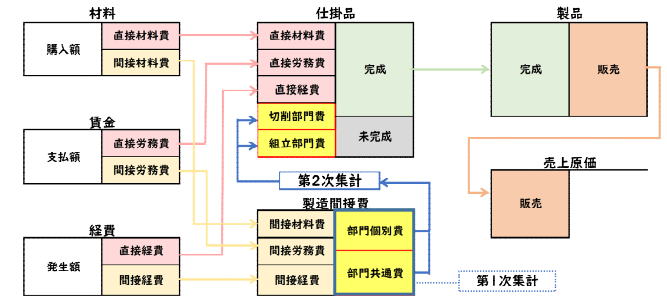
(仕掛品) 1,500 (切削部門費) 850  
(組立部門費) 650

# 部門別原価計算

## 《問題5》

次の資料に基づいて、部門別予定配賦率を計算し、第3次集計（予定配賦）の仕訳および製造部門費差異に関する仕訳を行いなさい。

なお、予定配賦の配賦基準は直接作業時間を用いること。



## 1. 年間の予算部門別配賦表

年間予算部門別配賦表 (単位:円)

摘要	合計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費合計	2,000,000	800,000	600,000	400,000	200,000
動力部門	400,000	240,000	160,000		
修繕部門	200,000	120,000	80,000		
配賦額合計	600,000	360,000	240,000		
製造部門費	2,000,000	1,160,000	840,000		

## 2. 年間の直接作業時間 (基準操業度)

切削部門: 10,000h      組立部門: 8,400h

## 3. 当月の製造部門費実際発生額 (150,000円)

切削部門費: 90,500円      組立部門費: 59,500

## 4. 当月の直接作業時間

	No.101	No.102
切削部門	450h	300h
組立部門	350h	250h

## 【部門別予定配賦率】

切削部門	@	円	組立部門	@	円
------	---	---	------	---	---

## 【第3次集計の仕訳 (予定配賦)】

各製造指図書への予定配賦額 (単位:円)

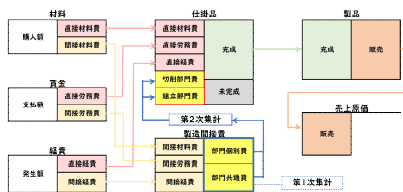
	No.101	No.102	合計
切削部門			
組立部門			
合計			

## 【製造部門費配賦差異の仕訳】

# 部門別原価計算

## <製造間接費～仕掛品抜粋>

(製造部門費の配賦を予定配賦する場合)



- <部門別計算の流れ>**
- ①. 製造間接費を部門ごとに集計する(第1次集計)
  - ②. 補助部門費を製造部門に配賦する(第2次集計)
  - ③. 製造部門費を各製造指図書へ配賦する(第3次集計)

### 製造間接費

間接材料費	部門個別費
間接労務費	部門個別費
間接経費	部門共通費

～第1次集計～  
 (切削部門費) 600 (製造間接費) 1,500  
 (組立部門費) 500  
 (動力部門費) 300  
 (修繕部門費) 100

～第2次集計～  
 (切削部門費) 250 (動力部門費) 300  
 (組立部門費) 150 (修繕部門費) 100

部門個別費	切削部門費
部門共通費	組立部門費

部門個別費	切削部門費
部門共通費	組立部門費

### 切削部門費

部門個別費	仕掛品
部門共通費	
動力部門費	
修繕部門費	
差異	

### 組立部門費

部門個別費	仕掛品
部門共通費	
動力部門費	
修繕部門費	
差異	

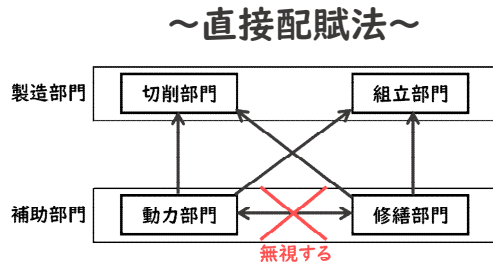
### 仕掛品

直接材料費	完成
直接労務費	
切削部門費	未完成
組立部門費	

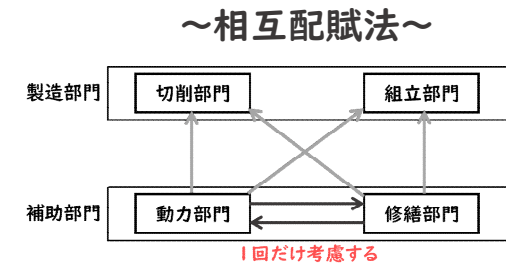
～第3次集計(予定配賦)～  
 (仕掛品) 1,400 (切削部門費) 900  
 (組立部門費) 500

～製造部門費配賦差異～  
 (切削部門費) 50 (切削部門費配賦差異) 50  
 (組立部門費配賦差異) 150 (組立部門費) 150





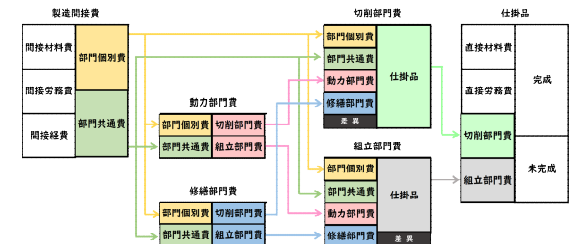
## 《まとめ》



- 原価部門は、製品の製造に直接携わる（ ）と補助的な役割を担う（ ）に分類される
- 補助部門費の配賦方法には（ ）と（ ）がある
- 部門別原価計算は3段階で行われる

### <部門別計算の流れ>

- ①. 製造間接費を部門ごとに集計する（第1次集計）
- ②. 補助部門費を製造部門に配賦する（第2次集計）
- ③. 製造部門費を各製造指図書へ配賦する（第3次集計）



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします！

第12回の内容お疲れさまでした♪

